

# 活動報告

## ふんふんと農園

3月の畑、水仙は寒いで花を付けて僕たちが来るのを待っています。



寒い中でも春を待ちきれず、イチゴの花が1〜2個寒そうに咲いています。タマネギやニンニクは寒い中でも青々と生長し



ています。

冬野菜の大根の後は土作り中です。

土の中の虫もこれでは寒くていられません。

回りを寒さよけのシートに囲まれたエンドウは多くの花を付けています。

S・O

## 甘辛チャンネル

「心温まるおはなし」

容姿、性格、生き方が異なる人達が地球の上に乗っかっている。

“俺は天下人だ”「私も顔も性格も悪いから誰とも付き合いたくない」。然し、山の仙人でも無い限り必ずどこかで他人と

かかわっている。その相手がきつかったり、

優しくったり・・・きつい相手には本能的に立ち向かい自己を奮いた

たせる。優しさを貰ったら、素直に甘え、反面感謝して、

優しさを人に与えようとする。

常に人と関わっているわけ

です。

不況ゆえか、或いは個人的な事情に依り、路上生活をしている人が増えているとか。

大阪では通天閣（何でもパリのエッフェル塔を本手に建造された由）の近くに、工夫をこらしたビニールテントやビルの軒下で寒夜眠っている人達がおられる。

その日、その日の食事を求める為、その日その日の職を求めて必死に生きている。

ある日、こんな記事を見つけた。

若いときからピアノが好きで路上での生活者になっても、どこかでキーボードを見つけて一人弾いて楽しんでいた。

クラシックの大御所の作曲家バッハの音色に耳を傾ける人達がいつの間にか集まってきた。

厳しい生活環境の人達がどれ程心を癒された事だろう。

聴衆者同志の輪も広がり人と人とのつながりが出来たであろう。

心温まる記事でした。

（朝日新聞夕刊 人脈記より）

N・Y

## 四季彩



クリスマスローズ(雪起こし)

学名: Helleborus niger

Helleborus orientalis

Helleborus: 地獄の(荒れた土地)

niger: 黒色の

和名: クリスマスローズ(雪起こし)

科名: 金鳳花(きんぽうげ)科

花期: 2月節分〜3月頃

誕生日の花: 3月6日

花言葉: 慰め

ヨーロッパ原産。白く大きめの花ですが、ピンクやいろいろの色の花があります。花は何故か下向きに咲くものが多い。花を雪から守っているのかもしれない。根は薬用に用いられている。

「別名 雪起こし(ゆきおこし)」: 寒さに強く冬枯れの大地で雪を持ち上げて花を咲かせるところから命名したかも。

T・N

## 古今東西

### 昭和二十年の春

春を待ちわびる心。

卒業式。入学式。

新しい門出。

いずれも希望に満ちあふれる言葉!

でも昭和二十年のこの季節。日本の国内では不安と恐怖。

悲しみに人々の心は

動揺していました。

第二次世界大戦(大東亜戦争)は激しくなり

兵士達も銃後の臣民(国民)達も、東京・大阪から始まった空襲が全国に広まり、大勢の人たちが住む家を、家族を失いました。

した壯年、老年者達の感激・感涙。この心、理解出来ずか。いや理解できないのが当たりまえですね。

N・Y

卒業の三月。卒業式も挙行されず、校舎を離れた少年・少女達。戦後何十年を経てようやく卒業証書を手

